

# 市議会だより なかま

No.168

Shigikaidayori NAKAMA

2018.11.10

<http://www.city.nakama.lg.jp>



(上) 議案の提案理由を説明する  
保護者の方

(右) 議案を審議する子ども探検隊  
の皆さん



8月22日に、子ども探検隊9人と保護者の方が、市議会の見学に訪れられました。

議会事務局の職員から議会の役割などの説明を受けた後、模擬議会議会を体験しました。市長役を演じる保護者の方から、小学生がゲームをする場合は1日当たり1時間以内とする内容の「中間市ゲームで遊ぶ時間を制限する条例」を提案し、議員役を演じる子ども探検隊の皆さんが審議しました。

結果は、全員反対で否決されました。

■ 行財政改革調査特別委員会提言	2
■ 議会日誌	3
■ 9月定例会で議決された議案	4
■ 一般質問	5
■ 委員会報告	8
	10

# 行財政改革調査特別委員会が 市長に提言書を提出しました

9月27日、行財政改革調査特別委員会（委員長 植本種實）が福田市長に「中間市の行財政改革に関する提言書」の提出を行いました。

現在、中間市の財政状況としては、平成28年度決算における経常収支比率は福岡県内（政令指定都市を除く。）で26市中25番目であり、また、平成30年度当初予算においては、多額の基金を取り崩さなければ、予算を調製できない状況となっています。

また、中間市の人口は、平成30年8月末日現在、4万2094人で、昭和59年の5万1319人をピークに毎年減少しています。この状況が続くと10年後の人口は約3万3000人まで減少することが予想されています。

人口減少に伴い自主財源である個人住民税などの税収も大幅に減少することが併せ

て予想されています。しかしながら、支出においては、減少傾向どころか、公共施設や上下水道などをはじめとした生活インフラの改修費用など多額の支出が見込まれる事業が山積しており、住民一人当たりの行政コストは増大する傾向にあることも予想されているところ です。

今回の行財政改革の提言に当たっては、議員から多くの内容が提出され、これを「平

成31年度予算の調製のために提言する短期的なもの」と、「平成32年度以降の予算の調製のために提言する中・長期的なもの」とに分類いたしました。

まず、今回の提言は、平成31年度当初予算を調製していく上で取り組んでいただきたい内容とするものです。



福田市長(右)に提言書を提出する植本委員長(中央)と中野副委員長(左)

## 提言書を閲覧できます

提言書を市のホームページ及び次の施設で閲覧することができます。

- ・ 市役所情報公開コーナー
- ・ ハピネスなかま
- ・ 中央公民館
- ・ 地域交流センター
- ・ なかまハーモニーホール
- ・ 図書館



## 【提言事項】

- 1 業務委託、補助金等の見直しについて  
(1) 業務委託における事業の見直し、委託内容の精査等
- (2) 補助金、負担金等の精査
- 2 報酬及び給与の見直しについて  
(1) 二役報酬の見直し
- (2) 職員給与の見直し
- 3 行政サービスの向上について  
(1) 学童保育の時間延長
- (2) 18歳未満の医療費の無償化
- 4 今後大きな改革が必要と思われる施策について  
(1) 市立病院の経営形態
- (2) 給食の無償化
- (3) 小中学校の統合

## 議

## 会

## 日

## 誌

2018  
8月

- 8. 10 行財政改革調査特別委員会
- 8. 22 子ども探検隊議場見学
- 8. 30 代表者会議／議会運営委員会／行財政改革調査特別委員会／新人議員研修会

2018  
9月

- 9. 4～27 平成30年第3回中間市議会定例会
- 9. 4 本会議
- 9. 6 本会議
- 9. 10 総合政策委員会
- 9. 11 市民厚生委員会
- 9. 12 産業消防委員会
- 9. 14 総合政策委員会
- 9. 18 市民厚生委員会
- 9. 19 産業消防委員会
- 9. 20 市民厚生委員会／遠賀・中間地域広域行政事務組合第2常任委員会
- 9. 21 総合政策委員会／市民厚生委員会／産業消防委員会／議会運営委員会／  
行財政改革調査特別委員会
- 9. 26 産業消防委員会
- 9. 27 議会運営委員会／本会議／行財政改革調査特別委員会提言書提出／  
福岡県市町村職員退職手当組合議会（福岡市）



赤い羽根共同募金街頭募金運動

2018  
10月

- 10. 1 赤い羽根共同募金街頭募金運動（イオンなかま店）
- 10.3～5 中間市行橋市競艇組合行政視察（福井県坂井市）
- 10.10～12 総合政策委員会行政視察（北海道夕張市・岩見沢市・月形町）
- 10.11 福岡県北部市議会議長・副議長会（北九州市）
- 10.12 地域安全運動第24回遠賀大会（遠賀町）
- 10.17 福岡県市議会議長会（朝倉市）／新人議員研修会
- 10.21 第40回筑前中間やっちゃん祭り
- 10.22～24 遠賀・中間地域広域行政事務組合行政視察（茨城県常総市・東京都練馬区）
- 10.24 戦没者追悼式
- 10.26 議会運営委員会議員研修（愛知県名古屋市）
- 10.28 第32回「緑の日」記念植樹祭／中間市制60周年記念式典
- 10.29 議会運営委員会／編集委員会
- 10.30～11.1 市民厚生委員会行政視察（愛知県豊明市、愛知県蒲郡市）
- 10.31 自治振興セミナー（東京都千代田区）



## 9 月定例会で議決された議案

市長提出議案		
議案番号	件名	議決結果
同意案第4号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について(日高幸夫)	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(上田献治)	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(乙藤和典)	適任
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について(中垣美子)	適任
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について(三角由紀子)	適任
認定第1号	平成29年度中間市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成29年度中間市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成29年度中間市住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成29年度中間市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成29年度中間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成29年度中間市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成29年度中間市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	平成29年度中間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成29年度中間市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
認定第10号	平成29年度中間市病院事業会計決算認定について	認定
第41号議案	平成30年度中間市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第42号議案	平成30年度中間市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第43号議案	中間市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第44号議案	中間市敬老祝金条例の一部を改正する条例	原案可決
第45号議案	中鶴更新住宅(1期)新築工事(建築工事)請負契約について	原案可決
第46号議案	財産の処分について	原案可決
第47号議案	中間市道路線の認定について	原案可決
議員提出議案		
議案番号	件名	議決結果
意見書案第10号	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	原案可決
意見書案第11号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	原案可決
意見書案第12号	水道法の改定をしないことを求める意見書	原案可決
意見書案第13号	特定複合観光施設区域整備法(カジノ実施法)の廃止を求める意見書	原案可決
意見書案第14号	全ての駅をバリアフリー化するための法制化を求める意見書	原案可決
請願		
議案番号	件名	議決結果
請願第1号	全ての駅をバリアフリー化するための法制化を求める意見書の提出を求める請願	採択

掛田るみ子議員

(公明党)



災害時の避難と避難所のあり方について

7月の西日本豪雨では、大雨特別警報により、初めて指定避難所を開設しました。本市における避難者との避難所の状況及び今後の課題と対策について伺います。

総務部長

ハピネスなかも、地域交流センターをはじめ、市内10か所に避難所を開設し、避難者数は最大で390人でした。また、課題としては、避難所開設マニュアルが整備され



避難所の地域交流センター

ておらず、避難所開設に時間を要したこと、希望が丘高校と調整がつかず、避難所として開設できなかったことがありました。しかし、学校関係者と協議を行い、今後は開設できるよう、承諾を得ています。

議員

中間校区に洪水時の指定避難所がありませんが、中間小学校を緊急避難場所にできないのですか。

総務部長

中間小学校は浸水想定区域内にあり、堤防のすぐ横にあることから避難所に指定することは危険でありできないと判断しています。

議員

市として地域の現状を踏まえ、避難所及び避難の方法を再検討するべきではありませんか。

総務部長

自治会や自

主防災組織、消防団と協力して、重点的な周知、指導を行って参りたいと考えています。

学校施設及び通学路の安全性確保について

本市の学校施設及び通学路におけるブロック塀等の状況とその対応をお聞きます。

教育長

大阪北部の地震の後、安全点検を実施したところ、倒壊する危険性のあるブロック塀は見られませんでしたが、10校のうち4校で、控え壁を備えていない等のものがありました。既に修繕に取り掛かり、早急に修繕を完了する予定にしております。

議員

市民に自宅のブロック塀等に関心をもち、対策を講じてもらうために啓発してはどうでしょうか。建設産業部長 広報やホームページでの周知を検討します。

草場満彦議員

(公明党)



7月6日の豪雨の対応について

7月6日の豪雨の際、対応として不十分だった点、今後の課題を伺います。

総務部長

避難所開設の対応に混乱が生じた点ですが、早急にマニュアルを整備し、円滑な運営ができるよう訓練などを行って参ります。また、防災行政無線が聞き取りにくいという意見に対しては、防災行政無線を補完するものとして、新たに個別受信機等の導入について検討します。

議員

土手ノ内のアンダーパスは、今まで大雨ですぐに冠水していましたが、土手ノ内2丁目公園の地下に調整池を設置したことで、効果はあったのでしょうか。

環境上下水道部長

去には頻繁に冠水し、通行止めになっていました。調整池の建設により土手ノ内2丁目、3丁目での広範囲の浸水を防止でき、一定の効果があつたと考えられます。



土手ノ内のアンダーパス

議員

2丁目の調整池だけで能力が不足しているれば、3丁目にも増設するのでしょうか。

環境上下水道部長

中間全体の浸水状況の調査を行い、浸水

対策に取り組んでいきます。

議員 新設の新日鐵堰の設置工事は完了したと聞いていますが、旧堰の撤去のスケジュールを伺います。

建設産業部長

平成30年9月から平成31年の3月までと聞いています。

議員

台風シーズンである9月に工事が始まることについて、危険だと考えますが、国に申入れをしてもらえるのでしょうか。

市長

必要に応じて国に要望していきたいと思えます。

議員

底掘りをして、治水効果を上げるとのことですが、そのスケジュールについて伺います。

建設産業部長

平成30年度は、北九鞍手夢大橋付近右岸側の掘削を行う予定と聞いており、今後引き続き上流部の掘削を実施していくのとです。

中尾淳子議員

(公明党)



学校での熱中症対策について

熱中症から子ども  
の命を守るための小  
中学校での対策につ  
いて伺います。

**教育長** 快適な学習環  
境の整備のため、市  
内小中学校の全ての  
普通教室に空調機を  
設置しています。ま  
た、今年度は例年に  
ない猛暑のため、文  
部科学省からの依頼  
に基づき、2学期の  
始業開始を8月27日  
から9月3日に変更  
しました。

**議員** 教室の温度設定  
はどのように管理し  
ているのですか。  
**教育部長** 夏期は30度  
以上、冬期は10度以  
下を稼働の目安とし、  
各小中学校で適正な管  
理を行っています。  
**議員** 水分補給のため  
の冷水器の設置等を

考えられていますか。  
**教育長** 衛生面に配慮  
して、一部の学校  
のみとなっています。  
このため、水筒持参  
のお願いや、緊急時  
に備え、職員室や保  
健室に冷やした飲料  
水や経口補水液を備  
えています。



西小に備えている経口補水液

**議員** 市内保育園での  
熱中症対策は把握さ  
れていますか。  
**こども未来課長** 全て  
の園がお茶やスポー  
ツドリンクを提供し  
ており、二つの園で  
はミストシャワーを  
設置しています。ま

住宅リフォーム補助金制  
度について

住宅リフォーム補  
助金制度は、手続き  
が複雑、提出書類が  
多い、業者から見積  
もりを取るのが困難  
などといった声があ  
りますが、改善策は  
ないのでしょつか。

**建設産業部長** 見積書  
は提出してもらわな  
ければ、補助金交付  
の準備ができない状  
況です。多くの書類  
が必要なことに關し  
ては、個人情報観  
点から、担当課で入  
手することが困難で  
あり、申請者が準備  
する必要がありま  
す。しかし、窓口で、分  
かりやすく説明する  
とともに、記入例等  
の用紙も配布してい  
ますので、ご理解と  
ご協力をいただきます  
と考えています。

た、こまめな水分補  
給など、常に園児の  
健康に最大限配慮し  
ているとのこと  
**住宅リフォーム補助金制  
度について**

田口澄雄議員

(日本共産党)



地震によるブロック等  
の崩落による被害を食  
い止めるために

6月の大阪北部の  
地震により、通学中  
の女子児童がプールの  
ブロック塀の下敷  
きになり亡くなると  
いう事故がありました  
が、これを受け政  
府はどのような対応  
をしてきたのでしょ  
つか。

いるということ  
が、本市では対策は  
されているのでしょ  
つか。  
**教育施設課長** 学校施  
設については、平成  
25年までに耐震化工  
事を実施済みであり、  
また、全ての屋内運  
動場について天井等  
の非構造部材の落下  
防止のための耐震対  
策工事を平成27年度  
に完了しています。

教育部長

文部科学省  
から全国の自治体  
に対して、安全点検と  
状況調査の依頼があ  
り、本市の調査結果  
を報告しています。

議員

本市は全ての学  
校について報告して  
いるのでしょつか。

教育部長

全ての施設  
を適切に点検し、報  
告済みです。

議員

大阪の場合は、  
照明等の落下事故に  
よる負傷も起こって



修繕後の底井野小学校ブロック塀

**議員** 外観に基づく点  
検のみでなく、内部  
調査も必要があると  
思いますが、本市で

はどうなっているの  
でしょつか。

教育施設課長

外観  
の点検を行った後に、  
内部の鉄筋の配筋状  
況を専門業者により  
調査済みです。

議員

本市近くにある  
福智山断層が、危険  
主要活断層に指定さ  
れました。本市とし  
ても本気で地震に構  
えていく必要性があ  
るのではないでしょ  
つか。

市長

市民の命、これ  
を第一に考え、災害  
に強いまちづくりを  
目指していきたいと  
思っています。

議員

一般家庭のプロ  
ック塀の撤去費補助  
制度を考えていくべ  
きではないでしょ  
つか。

建設産業部長

現在、  
国及び県でも検討さ  
れている状況であり  
ますので、動向を注  
視しながら検討して  
いきます。





# 委員会報告

9月定例会で各常任委員長が報告した審査内容の一部を掲載します。

## 総合政策委員会

### 〔平成29年度決算〕

#### 一般会計

歳入歳出差引額は3億8530万円の黒字決算となっております。また、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支については3億6940万円の黒字、単年度収支においては5520万円の赤字となっております。

歳入に関しては、地方交付税の収入済額は52億9420万円で、前年度と比べ1820万円減額となっております。地方交付税を補完している臨時財政対策債の借入額は4億9830万円で、前年度と比べ1520万円増額となっております。地方消費税交付金の収入済額は6億7050万円で、前年度と比べ300万円減額となっております。また、

ふるさと納税を含む寄附金の収入済額は3億5010万円で、前年度と比べ3億2880万円の大幅な増額となっております。なお、市債の借入額は11億2580万円で、前年度と比べ1億920万円増額となっております。

歳出に関しては、人事院勧告に準じた期末勤勉手当の支給率の引上げなどにより、人件費は前年度と比べ2640万円の増額となっており、公債費も前年度と比べ460万円の増額となっております。平成29年度末における普通会計の基金残高は、前年度から4億930万円と大幅に減額して2億1840万円となっております。また、地方債残高は、前年度から7億2490万円減額して127億9190万円となっており、13年連続の減少となっております。

主な財政指標は、資金繰り

の危険度を示す実質公債費比率は前年度から0・3ポイント悪化して14・6%に、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率は3・9ポイント改善して70・1%に、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は0・9ポイント改善して98・5%となっております。

討論において、委員から「職員と管理職の関係が異様な事態が進んでいると思われる人事評価制度の中止を求める」、「学校給食の民間委託は、離職率の高さ、質の確保という点で問題がある。経費的にも安く見えるが、消費税の税率が上がる度に、委託料が増加するため、学校給食の直営を求める」との意見がありました。賛成多数で認定しました。

### 〔平成30年度補正予算〕

#### 一般会計

歳入においては、普通交付税及び臨時財政対策債の決定に伴い、その額を補正するものが主な内容であり、歳入歳出それぞれ6850万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ179億4834万2000円とするものです。

歳入の主なものは、普通交付税3370万円、県道中間水巻線改良事業に伴う市有地売却収入4270万円、災害復旧事業債740万円などが追加計上され、一方、学校施設改善交付金3920万円、学校教育施設整備事業債5800万円、財政調整基金繰入金8330万円が減額されております。

歳出の主なものは、総務費において、ふるさと納税管理業務委託料に820万円などが追加され、教育費においては、小学校のブロック塀の修繕に480万円が追加されております。一方、小学校トイレ改善事業については、1億1660万円が減額されております。さらに、災害復旧費においては、遠賀川河川敷グラウンドの復旧工事に740万円が計上されています。

討論において、委員から「遠賀川河川敷グラウンドにこれまで多額の災害復旧費用を投じている。遠賀川河川敷グラウンドの公の施設としての役割を学校のグラウンドに代替するなどして、今後予想される災害復旧費を他の予算に活用してもらいたい」、「道徳教育は、

## 市民厚生委員会

### 〔平成29年度決算〕

#### 一般会計

歳入については、市税収入決算額は40億410万円で、前年度と比較して、2330万円の増収となっております。その主な要因として、市民税における所得水準が向上せず、個人市民税が1190万円減収、さらに喫煙率の低下により、たばこ税も2470万円減収となりましたが、徴収率としては前年度の95・5%から96・2%に上昇し、また、

法人市民税が増収、さらに、固定資産税、都市計画税が増収となったことによるものです。歳出の主なものは、民生費の決算額は84億2230万円となっており、社会福祉費の主なものは、特別会計国民健康保険事業繰出金5億252



0万円、後期高齢者医療制度給付費負担金6億5590万円、介護保険事業特別会計繰入金7億1140万円となつて

います。児童福祉費の主なものは、子ども・子育て支援費7億6430万円、児童手当・児童扶養手当9億4720万円となつて

います。生活保護費の主なものは、扶助費21億8070万円となつて

います。衛生費の主なものは、各種予防接種委託料1億410万円となつて

います。討論において、委員から「少子化対策としての婚活イベントの実施を止め、雇用の抜本的改善として、育児休暇の賃金補償や正規雇用等のスキルアップを後押しする職業訓練

などの拡充に充てるべきである。」また、「生活相談支援センターなどの業務は、本来は行政の仕事であり、民間委託せず、正規雇用を確保すべきである」などの意見がありま

した。賛成多数で認定しました。

**特別会計国民健康保険事業**

歳入決算額は65億6970万円、歳出決算額は75億8370万円で、歳入歳出差引額

は10億1390万円の赤字となつて

いますが、単年度収支においては2億2210万円の黒字決算となつて

います。歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金、前期高齢者交付金、共同事業交付金となつて

います。歳出の主なものは、保険給付費、後期高齢者支援金等となつて

います。討論において、委員から「生活困窮で保険料を支払えず、資格証明書を交付され、経済的理由で病院に受診できず、命を落とす危険性がある。安心して病院に受診できるように

保険証の取上げは止めるべきである」との意見がありました。賛成多数で認定しました。

**介護保険事業特別会計**

歳入決算額は貸付金元利収入等570万円、歳出決算額は繰上充用金等3億4950万円

で、差引歳入不足額は3億4380万円ですが、単年度収支では460万円の黒字決算となつて

います。円の黒字となつて

います。歳入の主なものは、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、繰入金となつて

います。歳出の主なものは、保険給付費となつて

います。前年度に比べ、保険給付費の介護予防サービス等諸費が41%減少した要因は、通所及び訪問サービスが地域支援事業費へ移行した

ことによるものです。また、サービス事業勘定の歳入決算額は4530万円、歳出決算額は3580万円で、

歳入歳出差引額950万円の黒字となつて

います。討論において、委員から「特別養護老人ホームへの入所は、原則、要介護3以上とされており、入所基準を見直すべきである」との意見がありました。

全員賛成で認定しました。

**後期高齢者医療特別会計**

歳入決算額は7億9040万円、歳出決算額は7億7330万円で、歳入歳出差引額1710万円の黒字となつて

います。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料となつて

います。黒字となった要因は、出納整理期間に納付された保険料を、福岡県後期高齢者医療広域連合が平成30年度会計で受け入れるためです。

討論において、委員から、「75歳以上の高齢者を国民健康保険などから切り離れた年齢差別の医療制度である。廃止し、以前の老人保健制度へ戻すべきである」との意見がありました。

賛成多数で認定しました。

**病院事業会計**

収益的収支では870万円の経常利益が計上されています。また、総収益20億2350万円に対し、総費用20億1650万円となり、単年度収支において、690万円の純利益となつて

います。これにより、前年度繰越欠損金2億8410万円から当年度純利益を差し引いた2億7710万円が、当年度未処理欠損金となつて

います。資本的収支では2650万円の不足を生じましたが、繰越損益勘定留保資金等で、全額補てんされています。

**介護保険事業特別会計**

号被保険者介護保険料繰入金として1310万円が追加計上されています。また、歳出補正に伴う財源調整として前年度繰越金9770万円が追加されています。

歳出については、平成29年度事業における介護給付費の確定に伴う償還金として、国庫及び県償還金1億2160万円、支払基金償還金620万円増額され、また、人事異動に伴う人件費として、760万円増額されています。全員賛成で可決しました。

## 産業消防委員会

### 〔平成29年度決算〕 一般会計

歳出の主なものは、総務費では、交通安全対策費において、市内街路灯の電気代及び修繕料、交通安全施設等設置工事等で3920万円、住宅交通対策費において、地域公共交通バリア解消促進等事業費補助金、中古住宅購入・リフォーム補助金等の負担金及び交付金として5350万円が支出されています。衛生費では、遠賀・中間地

域広域行政事務組合へ、火葬施設、じん芥処理施設、し尿処理施設、組合事務所の負担金として6億4220万円が支出されています。

商工費では、商工業振興費において、新規起業者を支援し、地域経済の活性化を推進することを目的としたなかまチャレンジショップの建築工事費として8960万円が支出されています。

土木費では、継続して実施されてきました御座ノ瀬・中ノ谷線バイパス道路新設工事を含む道路新設改良費における工事請負費全体では、17件の工事が行われており、合計1億2890万円が支出されています。また、公園費において、垣生公園池周辺整備工事等の工事請負費として4680万円、住宅建設改良費において、中鶴地区立替事業における地域優良住宅建設予定地の土地購入に1億9590万円が支出されています。

消防費では、消防防災活動

の拠点整備を図るため、第四分団格納庫改修工事が行われ、また、寄贈高規格救急自動車機材購入に1450万円が支出されています。

討論において委員から「白島備蓄基地の補助金をもらっているが、この備蓄基地は福智山断層の延長線上にあり、地震の被害を考えると危険であり1日も早く撤去すべきもの」と考えるので反対する」との意見がありました。全員賛成で認定しました。



寄贈高規格救急自動車

90万円のうち、建設改良積立金へ5000万円を積み立て、残余1億7990万円を繰り越すものです。

次に、決算において、収益的収支では、5350万円の純利益となっています。また、資本的収支では3億4860万円の不足を生じましたが、当年度分損益勘定留保資金等で全額補てんされています。給水状況については、給水戸数は2万8693戸で、前年度より64戸の増加となっていますが、給水人口は、前年度より575人減少しています。

工事の状況については、唐戸浄水場データロガ装置更新工事等の改良工事28件、公道修繕工事などの保存工事704件、下水道工事に伴う配水管移設工事などの受託工事8件が行われています。

討論において委員から、「職員数の変化はないが、災害に対応できる人数を確保すべき、また、技術力の継承の面からも民間委託をやるべきと考へ反対する」との意見がありました。

賛成多数で可決及び認定しました。

### 水道事業会計

利益の処分において、当年度末処分利益剰余金2億29

残念ながら、水と空気には印刷できません...



(有)日高印刷所

〒809-0034 福岡県中間市中間一丁目 4-16  
HP▶http://www.hidaka-print.com/

TEL (093) 245-0214  
FAX (093) 244-8760

有料広告欄



■点字・声の市議会だよりなかまを発行しています  
目が不自由な人に「市議会だよりなかま」を点字または朗読テープにてお届けします。詳しくはお問い合わせください。  
[問合せ] 議会事務局 ☎(246)6220